



京都市立学校ホームページ「京都市立学校」で検索していただくと市立学校すべてのHPが閲覧できます

桂中だより「天鼓の森」について

「天鼓の森」の題名について説明をいたします。この桂中学校の一帯は、かつては小高い丘が点在する畠でありました。ちょうど本校のグランド辺りに「鼓のような形」の丘があり、木々が生い茂っていました。地元の人はこの形から「天鼓の森古墳」と言っていました。現在は全く痕跡すら残っていませんが推定で東西80メートル級の前方後円墳と言われています。この古墳は5世紀ごろに築かれたものと言われています。第2体育館を建築するときに古墳調査が行われ、そこから須恵器や埴輪の破片が発掘されたとのことです。この時代の人々は、いま我々が学んでいる校舎辺りでこの森を見ながら生活していたのではないでしょうか。学校の住所、上桂森上町は天鼓の森の北にあったこの地帯の地名を今も残しています。そのいわれをもとに学校だよりに「天鼓の森」の題をつけて月末に発行させていただいております。



入学・進級おめでとう！～輝く未来への第一歩～

4月7日に期待で胸を膨らませ、目をきらきらと輝かせた226名の新入生を迎え、全校生徒635名で令和5年度の桂中学校がスタートしました。

今年度の学校教育目標は『言語能力の育成・言語活動の充実』『温かな心』『たくましさ』を兼ね備えた生徒の育成と定め、次代を生き抜く生徒の育成に努めてまいります。学校・家庭そして地域の皆様のご理解とご協力をいただき、学校目標達成を目指してまいりますので、なにとぞ桂中学校教育に更なるお力添えをいただきますようよろしくお願ひいたします。

新入生代表「入学のことば」

入学式では、新入生代表が「入学のことば」で、緊張感のある中、堂々と決意表明をしてくれました。2・3生は入学式に参列できなかったので、入学の言葉の一部を紹介します。これを読んで、先輩としての自覚と責任をもって1年生を優しく導いていきましょう。

入学のことば

～(略)～ コロナ禍で制限された小学校時代でしたが、この4月からは徐々に制限がゆるんできました。また、WBCではサムライジャパンが世界一に輝くなど明るいニュースもありました。まだまだ気を抜くことはできませんが、コロナ禍前の日常をとりもどしつつあります。私たちは、この中学校生活の3年間で色々なことにチャレンジをしていきたいと思います。(略)一日一日を大切に過ごし、くいの残らないようにしていきたいです。そして、生涯の親友と呼べる仲間を作っていくみたいです。(略)時には、友だち、親ともぶつかることがあるでしょう。不安に押しつぶされそうな時もあるでしょう。そんな時は優しく力を貸していただき背中を押していただけると嬉しいです。(略)桂中学校の生徒としての自覚を持ち、一歩ずつ夢に向かって成長していきます。

令和五年四月七日 新入生代表

R5年度 各学年の学年だよりについて

R4年度では、「天鼓の森」と併せて、各学年の学年だよりも毎月発行していました。しかし、行事予定は同様のものを掲載し、時には「天鼓の森」と学年だよりとで異なる情報を掲載し混乱を招いたこともあります。

そこで、R5年度は毎月の学年だよりの発行を中止します。学年として発信していきたいことがある場合は学年だよりを不定期に発行することもありますが、毎月の定期発行は「天鼓の森」に一本化しますのでご了承ください。なお、学校の様子は、HPを随時更新しますので、そちらをご覧ください。

毎月の定期発行通信 R4：天鼓の森・学年だより → R5：天鼓の森 ※学年だよりは不定期発行
学校の様子は、HPを随時更新

